

## 小牧市最大級の大型センターが稼働 ～危険物倉庫を併設した多機能倉庫を開設～

センコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:杉本 健司、以下「センコー」)は、2024年10月2日に新センター「小牧北第2PDセンター」(愛知県小牧市、以下「新センター」)の開所式を行いました。



(小牧北第2PDセンター外観)

小牧市は、名古屋中心部へのアクセスや、首都圏や関西へ接続しやすい広域輸送の2つの利点を併せ持ち、近年に全面開通予定の東海環状自動車道により、東海エリアの地方配送においても非常に適したエリアです。新センターは、名神高速道路・東名高速道路の小牧ICから2.4kmの距離に位置しており、アクセスが非常に良好です。

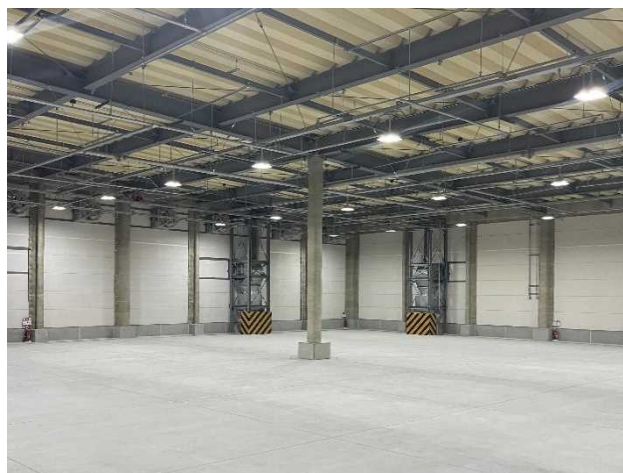
延床面積は約16,000坪で、シングルテナント型<sup>※1</sup>では小牧市内最大級<sup>※2</sup>の物流センターであり、2棟の危険物倉庫を備える自社物件です。パースには高床式を採用し、13mの全天候型ルーフを東西両面に設置することで、天候に関わらず大型車最大50台が接車可能です。

※1 1つの物流倉庫を1社が契約するタイプ (⇔マルチテナント型)

※2 当社調べ



(危険物倉庫外観)



(危険物倉庫内観)

内部には、センコーでもトップクラスの性能を誇る大型自動仕分けソーターを導入し、約 24%の省人化が見込まれます。また 70 台の防犯カメラに加え、IC カードによる入退室管理を行うことで高いセキュリティ性も備えています。システム面では、バース予約システムを導入することでトラックの荷待ち時間を減らし、物流業界の 2024 年問題に対応します。

そして、来年 1 月には 4,030 枚の太陽光パネル(年間発電量 206 万 kW)を屋根に設置し、CO2 削減のため環境配慮も進める予定です。

センコーは、小牧エリアに展開する計 5 つの物流センター(計 37,000 坪)の連携を活性化させ、顧客ニーズに最適な物流ソリューションを提供してまいります。

<小牧北第 2PD センターの概要>

所在地	愛知県小牧市大字河内屋新田字大畝町 805 番地
建物構造	1 階 SRC、2 階～4階 S 造、危険物倉庫：S 造平屋建
面積	倉庫棟 : 54,709.73 m <sup>2</sup> 危険物棟 : 1,944.56 m <sup>2</sup>
主要設備	・バース(50 台) ・貨物用エレベーター(2 基) ・全天候型バース ・太陽光パネル発電(予定) ・クライミングレベラー(2 基) ・垂直搬送機(8 基) ・非常用発電機